

実施計画事業名		放課後健全育成事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		教育部 こども課		課長(主幹)名	渡邊 祐子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	2	子どもたちの健全な成長を支援します					
	施策	3	総合的な子育て支援体制の整備を促進します					
	関連施策							
現状と課題	現在、児童館4、学童保育所を4ヶ所開設しているほかプレーパークや放課後子ども教室等、地域と連携を図りながら放課後の子どもの居場所づくりを進めている。特に児童館は、児童館まつりや子ども通貨タラ事業などにより、多くの児童に利用されている。社会教育センター内に南地区プレーパークと緑学童保育所を開設しているが、施設の狭隘と老朽化が目立っており、児童館未設置地区でもあることから、施設の見直しが必要である。							
目的	放課後等に、こども達に安全で自由に遊べる空間(学童保育所は加えて生活の場)を与え、健全な育成を図るとともにその保護者を支援する。							
施策展開の	①児童館・プレーパーク…児童館については、現在4施設中2施設は指定管理により運営を行っており、今後は直営の2施設についても指定管理者制度の導入について検討する。施設の老朽化等から南地区の放課後児童対策について見直しが必要。 ②学童保育所…特別支援を要する児童の受入などを進めていく。待機児童が生じないよう定員については十分な配慮を行っていく。 ③放課後子ども教室…現在1ヶ所のみでの開設であるが、学童保育所未設置地区について新規実施に向けて検討する。							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	児童館等を利用した1日あたり平均利用者数		人	目標	180	175	170	
説明	全児童館、児童会館、南地区プレーパーク、放課後子ども教室の1日あたりの平均利用者数(各利用者数を各開設日数で除したもの)の合計			実績	163	156		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	児童館利用者数		人	目標	43,000	42,000	40,000	
	説明	全児童館(富岡、東、港、中央)の年間利用者延べ人数			実績	41,204	39,486	
	南地区プレーパーク利用者数		人	目標	7,900	7,500	7,200	
	説明				実績	7,659	5,328	
	放課後子ども教室利用者数		人	目標	3,000	2,800	2,800	
	説明	年間利用者延べ人数			実績	2,841	1,857	
	学童保育所入所児童数		人	目標	165	165	165	
説明	全児童館(富岡、東、中央、緑)の入所者児童数			実績	192	194		
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)	千円	46,984	49,072	48,072			
	国庫支出金	千円	0	0	10,107			
	道支出金	千円	9,026	9,433	0			
	起債	千円	0	0	0			
	その他	千円	10,086	10,902	11,058			
	一般財源	千円	27,872	28,737	26,907			
	この事業にかかる職員数	人/年	0.66	1.64	2.00			
人件費(B)	千円	4,482	11,405	13,908				
計(A+B)	千円	51,466	60,477	61,980				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> インフルエンザの流行に伴う学校・学級閉鎖の増により、児童館利用児童数が減少した。 放課後子ども教室については、声問小学校児童数の減により利用児童数が減少した。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 児童の放課後の安全で快適な居場所の確保と、異年齢との交流、遊び等を通じて自主性・社会性の形成を支援するための各種活動プログラムの充実を図る。 指導員、児童厚生員の研修機会を確保し、質の向上を図る。 子育て経験者やボランティア団体など地域との連携をさらに強化し、児童館・学童保育所の利用促進とサービスの向上に努める。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--